

【別添】

令和7年度 学校自己評価システムシート

日高市立高麗川小学校

目指す学校像	夢いっぱい 笑顔いっぱい 希望あふれる高麗川っ子の育成 ~子供たちが通いたい学校 保護者が通わせたい学校 地域の方が誇りに思う学校 教職員が勤めたい学校 ~
重点目標	・学力の向上 ・指導力の向上 ・学年学級経営の充実 ・不登校や登校しぶり、教室になかなか入れない児童への組織的対応 ・小中一貫教育への具体的な取組の充実

年度目標		学校自己評価										
評価項目	具体的方策	評価指標	年度評価 (令和8年1月20日現在)									
			評価基準	教職員の割合	保護者の割合	目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会での評価	「学校運営協議会での評価」を受けて		
組織運営の充実 小中一貫教育の視点	・積極的な情報提供による、学校教育目標の周知と共有 ・小中合同研修会の実施による小中一貫教育の推進	1	学校は、学校教育目標「考える子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」の実現を目指し、児童の育成に努めている。	A+B	100.0%	95.2%	・教職員保護者ともに高い評価をいただいた。 ・評価項目2について、保護者からは成果がわかりづらく評価が難しいというご意見をいただいた。A評価の割合が低い一因であると考え。 ・評価項目2の教職員割合が、17.2%改善した。昨年度の研究発表等での取組が成果として表れた。	X	○項目達成率94.7%(昨年度比3%増) ・保護者にも年々学校教育目標が浸透していると考え。 ・本校は、義務教育学校ではないため、保護者にとって小中一貫教育が実感しにくいと考える。そのため、学校公開・たより等でより一層の周知を進めたい。 ・学校運営協議会、地域学校協働本部との連携を一層進めていく。 ・かえでの間(SSR)の見守りへの協力をいただいた。(2名)	学校運営協議会での評価 実施日 令和8年1月23日 学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)	
		2	学校は、中学校との連携を推進し、小中一貫教育に努めている。	A+B	94.7%	88.7%						
				Aのみ	15.8%	9.9%						
				A+B								
基礎学力の定着	・主体的・対話的で深い学びを目指した授業研究会の実施 ・自主学習への意欲付けによる家庭学習の習慣化	3	学校は、学習内容が身につくよう、学習規律を定着させ、わかりやすい授業、楽しい授業をしている。	A+B	89.5%	90.7%	・評価項目3について保護者A+B評価9割を達成した。学力向上のための第一優先事項である授業での高評価は、価値がある。 ・評価項目4は、教職員の自己評価は昨年度と比べ10%向上した。しかし、保護者評価は微減しており、教職員と保護者の間にギャップがある。	X	○項目達成率89%(昨年度比2%増) ・児童が日々の授業を「わかりやすい・楽しい」と感じ、保護者に学校から帰宅後に保護者に語ることができるよう引き続き授業改善・学級経営の充実を進める。 ・家庭学習については、デジタル(タブレット)とアナログ(紙等)の効果的なバランスを探っている段階である。保護者にもわかりやすくその効果が実感できるよう研究を進める。	学校運営協議会での評価 実施日 令和8年1月23日 学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)	
		4	学校は、児童が家庭学習に取り組めるよう指導している。	A+B	94.7%	81.5%						
				Aのみ	18.4%	21.2%						
				A+B								
保護者や地域との連携 コミュニティ・スクールの視点	・各種便り、メール等による情報発信 ・学校公開の実施 ・共感と傾聴を大切に三者相談の実施	5	学校は、保護者・地域に学校の取組や教育活動を伝えている。	A+B	100.0%	97.6%	・評価項目5・6についてすべての項目で90%超を達成した。コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育の浸透が感じられる。 ・評価項目6は、昨年度に比べてA+B評価(3%↑)・Aのみ(5%↑)ともに改善している。学校だより・HP更新等、日々の取組を確実に行ったことが実を結んでいる。	X	○項目達成率96%(昨年度比1%増) ・本年度も、HPの毎日更新を達成した。保護者や地域の方々から本校の最新情報を収集できるよう、引き続き取組を継続していく。 ・学校だより、保護者発出文書のUD化を進め、見やすいわかりやすいものにブラッシュアップしていく。 ・接遇・対応方法の不備で保護者・地域からの信頼を失うことが無いよう、電話対応、来校者対応等の仕方を改善する。	学校運営協議会での評価 実施日 令和8年1月23日 学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)	
		6	学校は、家庭への連絡や相談など、意思疎通を図ろうとしている。	A+B	97.4%	90.8%						
				Aのみ	65.8%	40.1%						
				A+B								
社会性・人間性の育成	・いじめアンケート、生活アンケートの実施による実態把握 ・生徒が主体となり活躍できる行事の実施	7	学校は、児童がだれとでも仲良く生活し、いじめや不登校がないように努めている。	A+B	94.8%	88.3%	・評価項目7・8について、昨年度とほぼ同じ数値となり引き続き高い評価を達成した。 ・年3回(各学期)アンケートを実施して、いじめの早期発見・早期対応を心がけており、それが成果となった。 ・かえでの間(SSR)を設置が不登校児童・保護者に対して安心安全な学校となる一助になった。 ・本年度、全校遠足の内容を一部改善した。たてわり班活動の一層の充実を図っていく。	X	○項目達成率94%(昨年度比2%減) ・引き続き「生徒指導・いじめ防止委員会」を基盤として、いじめの早期発見・早期対応を組織的に行う。いじめ解消率100%を達成する。 ・かえでの間(SSR)の設置・運用も本年度だいい軌道に乗ってきた。より一層の機能充実と拡大を進め、不登校児童・保護者の困りや悩みに寄り添い対応できる組織・体制を構築する。 ・本年度、全校遠足の内容を一部改善した。たてわり班活動の一層の充実を図っていく。	学校運営協議会での評価 実施日 令和8年1月23日 学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)	
		8	学校は、学級活動や児童会活動、学校行事などを通して、児童の心の育成をしている。	A+B	94.7%	96.6%						
				Aのみ	36.8%	43.5%						
				A+B								
安心安全な教育環境	・施設設備の月点検、日常点検の実施 ・定期的な自転車点検や学期末ごとの交通安全指導、年度当初の交通安全教室の実施	9	学校は、校舎内外の施設設備などが安全に使用できるようにしている。	A+B	97.3%	96.9%	・評価項目9について、昨年度と同水準の高い評価となった。毎月の定期点検と常時点検の実施、迅速な小破修理で安全な学校が実現された。施設・設備由来の学校事故0を達成した。 ・評価項目10について、保護者評価が5%アップとなった。教職員の定期的な見守りや保護者の登校指導等が功を奏している。登下校中の大きな事故0を達成した。	X	○項目達成率94%(昨年度比1%増) ・教職員の目が行き届いており、点検体制が整備されている状態であると考え。この状態を確実に維持していく。 ・今年度も、不審者対応訓練を実施し、児童・教職員に自分事として考えさせることができた。首から上のけがについては、確実に保健室対応をすとも保護者連絡を徹底することができた。 ・大規模改修(R8は高架水槽関係のみ)が5年計画で始まる。事故等が無いよう、教育総務課との情報交換を密にする。	学校運営協議会での評価 実施日 令和8年1月23日 学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)	
		10	学校は、児童に登下校時の交通安全など、安全安心な学校づくりに努めている。	A+B	94.7%	85.2%						
				Aのみ	42.1%	25.3%						
				A+B								